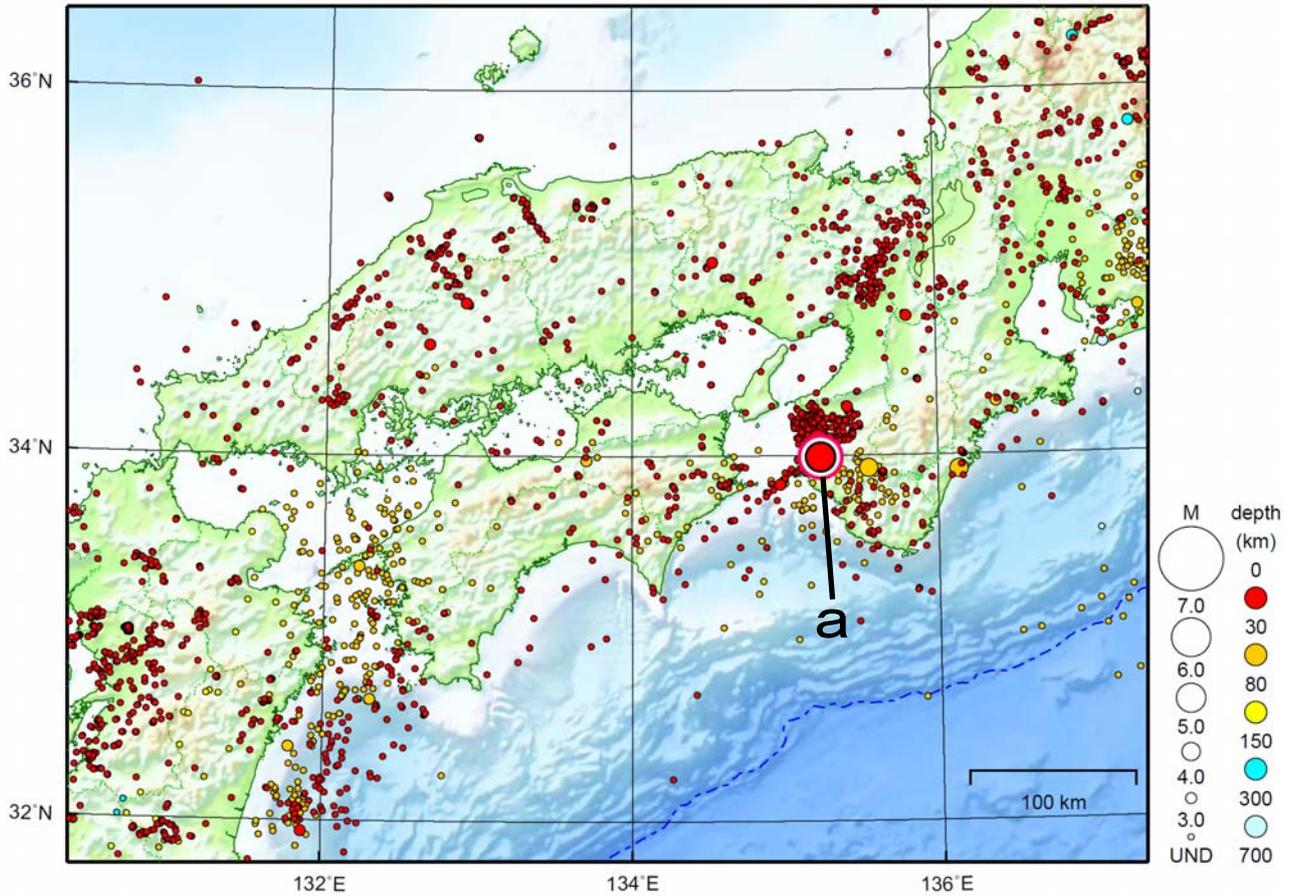


# 近畿・中国・四国地方

2011/07/01 00:00 ~ 2011/07/31 24:00

N=3677



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- a) 7月5日に和歌山県北部で M5.5 の地震（最大震度 5 強）が発生した。この地震の最大余震は同日に発生した M4.5 の地震（最大震度 4）である。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 7月5日 和歌山県北部の地震

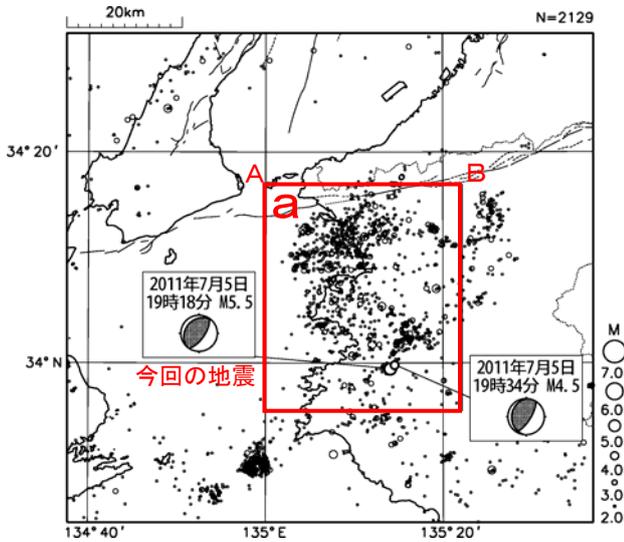
2011年7月5日19時18分に和歌山県北部の深さ7kmでM5.5の地震（最大震度5強）が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震は地殻内で発生した。

この地震で住家一部破損が21棟などの被害が発生している（総務省消防庁による）。同日19時34分にM4.5の地震（最大震度4）を観測するなど、震度1以上を観測する余震は7回発生しているが、その後の余震活動は落ち着いてきている。

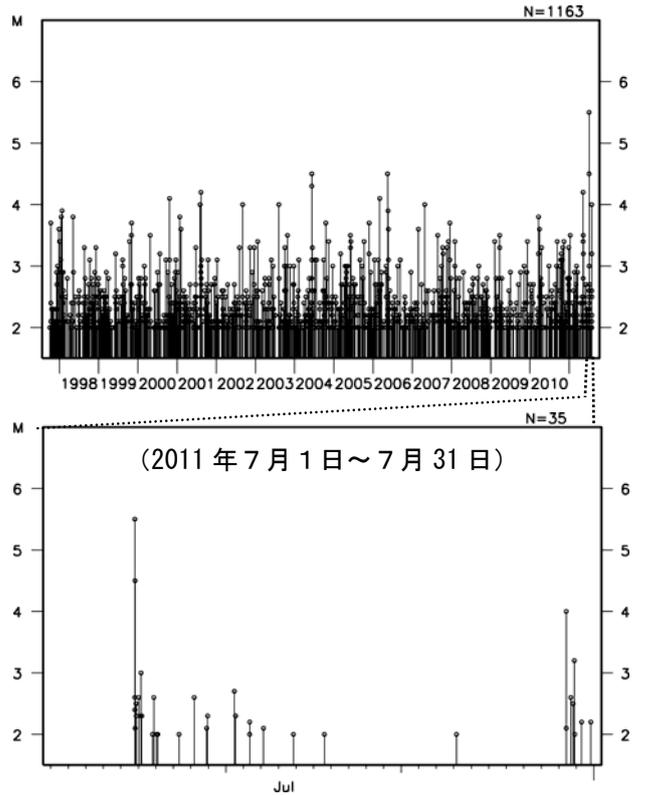
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域a）では、M5.0以上の地震は発生していなかった。

震央分布図（1997年10月1日～2011年7月31日、深さ0～30km、M≥2.0）

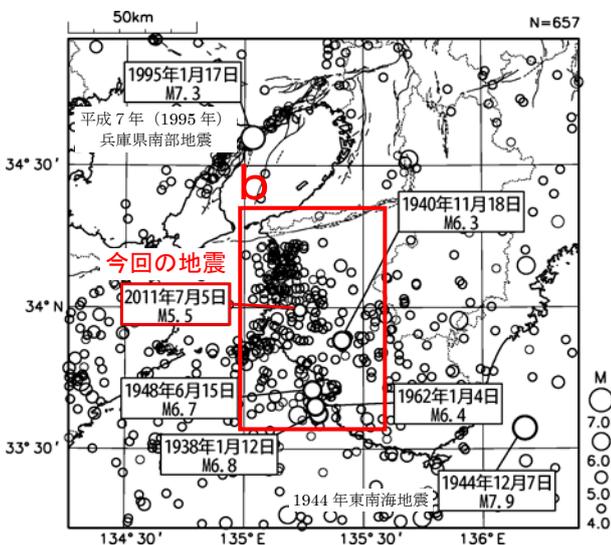
細線で地震調査研究推進本部による主要活断層を表示。



領域a内の地震活動経過図 (1997年10月1日～2011年7月31日)



震央分布図（1923年8月1日～2011年7月31日、深さ0～50km、M≥4.0）



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺ではM6.0を超えるような地震がときどき発生している。1948年にはM6.7の地震が発生し、死者2人・家屋倒壊60棟等の被害を生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

左図領域b内の地震活動経過図

